

長野市民病院で NPPV（非侵襲的陽圧換気）<sup>1)</sup> における入院治療をされた患者さんまたはご家族の方へ看護研究にご協力をお願い致します。

2025 年 10 月 6 日

「NPPV<sup>1)</sup> 装着患者さんに発生する MDRPU<sup>2)</sup> の実態調査と個体要因の分析」に関する看護研究を実施する予定です。

長野市民病院医倫理委員会の審査による長野市民病院長の承認を得て実施しています。この研究は「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開し可能な限り拒否の機会を保障することが必要とされています。

用語の説明：1) NPPV とは非侵襲的陽圧換気の略称。マスクを使って空気や酸素を送り、呼吸を助ける治療法です。

2) MDRPU とは医療機器による圧迫が原因で生じる褥瘡のこと

|          |   |
|----------|---|
| 倫理審査承認番号 | 2025 市病倫第 0062 号  |
| 研究課題名    | NPPV 装着患者さんに発生する MDRPU の実態調査と発生者の特徴分析   |
| 所属       | 看護部   |
| 研究実施期間   | 2025 年 7 月～2026 年 2 月   |
| 研究の意義、目的 | NPPV は急性・慢性呼吸不全患者さんの治療に広く用いられていますが、一般病棟における MDRPU 発生要因の第 4 位とされており、ケアの重要性が指摘されています。MDRPU の発生要因には、医療機器自体の特性や装着方法といった機器側の要因だけでなく、患者さんの年齢や栄養状態、皮膚の状態などの個体要因も関与していると考えられます。MDRPU の発生要因は様々な文献で検討されていますが、NPPV のみに着目した先行研究は少ないのが現状です。本研究では NPPV による MDRPU 発生の事態と個体要因との関連を明らかにし、病棟看護師に共有して MDRPU 発生予防の一助とすることを目的としています。 |
| 対象となる方   | 2025 年 7 月～9 月に ICU・HCU に入院し NPPV 装着した患者さん<br>年齢は 18 歳以上の男女   |
| 利用する診療記録 | ①BMI(18.5 未満、18.5～25 未満、25 以上) ②NPPV 装着開始時の栄養指標となる血液検査データ (TP、Alb) ③年齢<br>④NPPV 装着部位の皮膚状態<br>⑤装着期間中の皮膚水分量   |

|        |  |
|--------|--|
| 研究方法   | <p>NPPV 装着期間中に MDRPU が発生した患者さん（症例群）、発生しなかった患者さん（対照群）に分けて比較します。2025 年 7 月～9 月の患者さんを対象に後ろ向き調査を行います。</p> <p>年齢、血液検査データ、BMI などの診療情報は電子カルテを用いて収集します。皮膚水分量については研究期間中に NPPV 装着患者さんに対して、毎日 1 回測定を行いデータを収集します。皮膚水分量の測定には Mobile moisture HP19-M を用い、測定値は調査票に記録します。</p> <p>MDRPU の有無は、日本褥瘡学会の DESIGN-R および指押し法を用いて評価し、発生部位・深さ・大きさを記録します。症例群は NPPV 装着期間中に MDRPU が発生した患者さん、対照群は同期間中に MDRPU が発生しなかった患者さんと定義します。両群の個体要因を比較し、MDRPU 発生の実態を調査します。</p> |
| 研究者    | <p>研究責任者：病棟師長 宮澤陽子</p> <p>研究者：塚田陽友、島田芽奈、溝渕結萌（看護師）</p>  |
| 問い合わせ先 | <p>主任施設の名称：長野市民病院 ICU・HCU 病棟</p> <p>電話：026-295-1199（代表）</p> <p>氏名（所属・職名）：塚田陽友、島田芽奈、溝渕結萌<br/>（看護部 ICU・HCU 病棟・看護師）</p>   |

本研究では、既存の診療記録（血液検査データや身体情報など）を調査・集計するため、新たな診療や検査、検体の採取は行いません。ただし、皮膚水分量については、研究期間中に NPPV 装着患者さんを対象として、専用機器による非侵襲的な測定を追加で実施いたします。皮膚水分量の測定は患者さんの身体的負担を伴わない安全な方法で行い、得られたデータは厳重に管理します。

研究成果は今後の医学・看護の発展に役立てるため院内で発表する予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は一切利用しません。

本研究へのご自身の診療記録や皮膚水分量測定データの利用をご了承いただけない場合、またはご不明な点がございましたら、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願い申し上げます。なお、研究への不参加を申し出られた場合でも、患者さんが不利益を受けることは一切ありません。